



## 一丸 安貴 愛知支部 支部長

今回は、愛知支部の支部長一丸安貴選手に名古屋市工業研究所を見学していただきました。競輪補助事業は地域の企業に役立っています。

**愛知の特に若手は雰囲気良いですよ。  
高橋健二さん以来のGIタイトルを愛知支部で  
獲りたいですね。**

# 競輪つてこんなこと やってるんだ!!

今回、名古屋市工業研究所を見学して、ここにも競輪のシールが貼られているだなどと思いました。スポーツ医科学研究所等だと見えますけど、このようなところは僕たちでも知らないし、ましてや一般の方達にはまったくわからないでしょうね。

競輪の補助金がどう使われているのか全く分からなかったですね。競輪の売り上げは競輪を施行する地方自治体の税金になっているとしかイメージしかなかったんです。ただ競輪のシールだけ付いているのは分かりますけど。それでも何で付いているのかなという程度でしたね。

最近ここ何年かになって、このようにここに使われているのかなって自分は分かっただけですが、一般の方に分かっていたらいいように、もうちょっと発信していければ良いかなと思いますね。

この施設のように、直接的に、施行者の税金になるのではなくて、補助金として、税金とは違う形でフィードバックさせているのが分かると良いと思います。

このような事やっているからこそ、競輪というのは必要なんですという事を強く言ってもらえると我々選手も良いですね。

### 支部の雰囲気

愛知県支部は若い選手達が協力的で雰囲気は凄く良いんです。深谷知広が出てきて更に良いんですけど、この世界、結果が全てじゃないですか。他県よりも雰囲気が良いけども、高橋健二さん以來、GIを奪取している選手が一人もいないという現実を受け止めて、しっかりと考えて行きたいなと思いますけど。これで本場にGIを何本もボンボン獲る選手が出てくると、こんな最高な事は無いんですけど。雰囲気と言えば他県には負けないですね。

3月19日の募金活動でも、僕らがやろうと言ったのではなくて、支部員からやるべきではないのかと。選手会で義援金を20万円寄付したのですが、それは違うだろうと、寄付するのではなくて、募金活動に僕らが立つべきじゃないのかと支部員から出た答えなんです。僕も忙しくて、そうやって思ってたんですけど、支部

員も100人近く出てやってくれたんですけど、二宮でも殆どの選手が出てやってくれて。今回募金活動をやって色々な事が勉強になりました。やった事が無かったもので、どのようにやって行くんだらうって。今回の地震では、二宮駅に立っていたら、殆どの方が入ってくれましたね。みんなの重いと言いか捨てたもんじゃないな。支部員もやってよかったなと思ってくれました。僕は走るのが仕事なんですけど、このような活動ももっと推進して行きたいな。それが全国レベルでもっと方向性を持ってやって行きたいな。それが本場の競輪のイメージアップに繋がるのかなと思います。

### 今後の抱負

支部長をやって成績が下がったなんて言われたくないので、GIを獲れるような選手になれば発言力も増してくると思うので頑張ります。でも、支部長がこんなに大変だとは思わなかったです(笑)。でもやると決めたからには支部長としての結果を残さないとやった意味が無いので、今まで以上に支部長としての競輪界も、選手としての競輪もしっかりとやっていきたいと思えます。

### ファンに一言

今回支部長になりましたけど、選手としてもGI優勝を諦めた訳ではありませんので、少し長い目で見ただければありがたいので応援よろしくお願いします。